

病害虫発生予察 10月月報

10月の気象表(長野地方気象台)

官 署		平均気温			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	13.7	14.8	14.1	23.5	19.0	11.0	66.0	56.9	51.1
	平年	16.2	14.2	11.4	36.4	23.6	22.7	45.6	49.8	57.0
松 本	本年	12.9	14.7	13.7	19.5	11.5	15.0	73.4	61.9	62.9
	平年	15.5	13.6	10.7	47.4	26.7	27.9	45.4	51.7	62.8
諏 訪	本年	13.0	13.8	12.8	34.0	36.0	21.0	76.2	55.5	60.9
	平年	15.1	13.2	10.7	51.7	29.5	31.1	46.1	52.2	63.3
軽井沢	本年	9.9	11.2	10.1	19.5	11.0	17.5	72.7	47.8	46.1
	平年	12.1	10.2	7.8	54.7	31.3	34.0	37.6	47.1	57.5
飯 田	本年	15.1	15.2	14.4	23.5	49.5	33.0	69.7	44.8	57.8
	平年	16.6	14.8	12.0	64.4	34.6	34.7	44.3	50.3	57.2

月平均気温は、各地で平年並となった。月降水量は、軽井沢で平年よりかなり少なく、松本で平年より少なくなり、その他の地点は平年並となった。月間日照時間は、松本、諏訪で平年よりかなり多く、その他の地点は平年より多くなった。

1 水 稲

(1) 病害虫の発生状況

1) カメムシ類(斑点米)

地区予察ほにおける斑点米の発生量(混入率)は、平年並~少ない傾向であったが、一部で平年に比べ多い地点がみられた。

また、地区予察ほにおける着色粒(斑点米を除く)については、平年に比べやや多~多い傾向であった。

第1表 地区予察ほにおける斑点米と着色粒(斑点米を除く)の比率(%)

調査地点	品 種	斑点米		着色粒(斑点米除く)	
		本年	平年	本年	平年
佐久市	コシヒカリ	0.00	0.01	0.10	0.07
上田市	コシヒカリ	0.00	0.01	0.15	0.04
諏訪市	ひとめぼれ	0.00	0.05	0.06	0.04
伊那市	コシヒカリ	0.01	0.04	0.01	0.06
高森町	キヌヒカリ	0.03	0.04	0.11	0.07
南木曾町	コシヒカリ	0.07	0.03	0.17	0.03
安曇野市	コシヒカリ	0.03	0.03	0.21	0.13
大町市	コシヒカリ	0.01	0.04	0.07	0.05
長野市	コシヒカリ	0.00	0.01	0.11	0.06
飯山市	キヌヒカリ	0.00	0.03	0.08	0.10
平均	-	0.02	0.03	0.11	0.06

注1) 1ほ場につき玄米20,000~30,000粒調査。

注2) 着色粒(斑点米を除く)は、カメムシ類の吸汁害により生じた斑点米以外で、玄米に着色が認められたもの。

2) 黄萎病(再生芽)

巡回調査地点における発生は、長野地域の一部で発生がみられた。

また、松本市や中野市など常発地域で発生が目立つほ場がみられたが、生育期間中の被害等は確認されていない。

第2表 巡回調査ほにおける黄萎病(再生芽)の発生状況

地域	調査地点数	発生地点率(%)		平均発病株率(%)	
		本年	平年	本年	平年
東信	16	0.0	2.50	0.00	0.04
南信	18	0.0	2.61	0.00	0.02
中信	20	0.0	11.13	0.00	1.16
北信	17	5.9	7.40	0.16	0.21
全県	71	1.4	6.10	0.04	0.39

注) 調査方法は各調査地点で1ほ場100株とし、3ほ場で調査。平均発病株率は調査地点の発病株率を地域ごとに平均したもの。平年は過去10年の平均値。

2 りんご

(1) 生育概況

第1表 りんごの果実肥大状況(須坂市:果樹試験場)

調査日	ふじ							
	縦 径				横 径			
	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年
9/01	64.8	92	70.6	66.3	77.0	95	81.2	78.6
9/15	68.4	92	74.2	69.1	80.5	95	84.9	81.6
10/01	71.3	92	77.5	72.0	83.8	95	88.3	83.7
10/15	73.2	92	79.2	73.7	85.5	95	90.2	85.7
11/01	75.8	93	81.2	75.3	86.8	94	92.0	87.5

*単位:径(mm)、比(%)。比は平年との比較。平年値は過去15年の平均値。

(2) 病害虫の発生状況

1) 斑点落葉病

全般に平年並の発生であった。果実発病はほとんど認められなかった。

2) 輪 紋 病

中生種を主体に、全般にやや多い発生であった。

3) 炭 疽 病

中生種を主体に、全般にやや多い発生であった。

4) 褐 斑 病

各地で発生がみられたが、特に南信地域でやや多い発生であった。

5) すず点病・すず斑病

全般に平年並の発生であった。

6) シンクイムシ類

一部の地域で被害果が散見された。「平年並~やや多」の発生であると推測された。

第2表 スモモヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長(須坂市:防除所調査)

月・半旬	10・1	2	3	4	5	6
本年	0	0	0	0	0	0
平年	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0

平年は過去4年の平均値

3 なし

(1) 病害虫の発生状況

1) 黒斑病

巡回調査までは、平年並の発生であった。

2) 黒星病

巡回調査までは、平年よりやや多い発生であった。

4 野菜・花き

(1) 生育概況

生育は概ね平年並であった。

(2) 病害虫の発生状況

1) きゅうりの病害虫

ハウス抑制作型の収穫末期になり、全般にうどんこ病、斑点細菌病、褐斑病の発生がみられた。害虫では全般にハモグリバエ類の発生がみられ、一部のほ場で、オンシツコナジラミの多発が確認された。

2) はくさいの病害虫

各地でべと病、黒斑病、黒斑細菌病が散見された。一部のほ場では黒斑細菌病が甚発生であった。害虫では全般に、チョウ目幼虫の食害痕がみられた。

3) キャベツの病害虫

各地でべと病、黒斑細菌病、黒腐病の発生が散見されたが、発生は少なかった。害虫では全般に、チョウ目幼虫の食害痕がみられた。

4) セルリーの病害虫

病害虫の発生は概ね平年並であった。

5) コナガ(アブラナ科野菜)

各地のフェロモントラップへの誘殺数は、全域で少なかった。10月上旬の巡回調査でも、コナガの被害は少なかった。

第1表 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長(小諸市:野菜花き試佐久支場)

月・半旬	23年	22年	21年	20年	19年	18年
10・1	1	2	6	2	1	1
2	4	3	17	1	0	0
3	9	1	25	31	1	1
4	1	1	14	13	2	0
5	1	3	32	15	0	5
6	0	1	51	20	4	2

第2表 各地のフェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
調査場所						
病害虫防除所(塩尻)	3	0	1	1	1	1
上田市菅平(予察ほ)	1	0	1	0	1	0
諏訪郡原村(＼)	0	0	0	0	0	-
東筑摩郡朝日村(＼)	0	0	0	0	1	0
長野市上ヶ屋(＼)	0	1	0	0	0	0

6) ヨトウガ

10月上旬の巡回調査では、発生は概ね平年並であった。

第3表 各地のフェロモントラップによるヨトウガ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
調査場所						
病害虫防除所(塩尻)	0	0	1	1	0	0
農業試験場(須坂)	-	-	-	-	-	-

7) オオタバコガ

各地のフェロモントラップへの誘殺数は、昨年より少なく平年並であった。

第5表 各地のフェロモントラップによるオオタバコガ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
調査場所						
病害虫防除所(塩尻)	19	30	72	48	45	15
農業試験場(須坂)	7	5	1	7	5	7
野菜花き試佐久支場	27	19	15	5	24	1

8) ハスモンヨトウ

各地のフェロモントラップへの誘殺数は昨年よりは少なかったが、平年並の捕獲数であった。

第6表 各地のフェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫誘殺消長

月・半旬	10・1	10・2	10・3	10・4	10・5	10・6
調査場所						
病害虫防除所(塩尻)	26	20	17	33	75	14
農業試験場(須坂)	79	137	104	201	455	162
木曾郡木祖村(予察ほ)	-	-	-	-	-	-